

老舗クロックメーカーならではの “見やすい”デザインへのこだわり

当たり前ですが、時計は時刻を確認するための道具。だから何より“見やすさ”が重要なだけけれど、そうすると必然的にデザインもシンプルになりがち。でも、腕時計がアクセサリとしての役割も含むようになった現在、ただシンプルなだけの時計じゃ退屈じゃありません？

ということで、今を生きるシンプル好きが注目しておきたいのが、リズム時計工業のチェンノシリーズです。実はここ、時計界では知らない人はいないほどの名門！……と言っても、ウォッチ（腕時計）ではなく、クロック（掛け&置き時計）メーカーの名門として有名。1950年に創業し、日本で初めてプラスチック枠時

計を作ったのもここ。名だたるブランドのOEMも数多く手掛けています。

で、そんな名門がクロックの分野で培ったノウハウを腕時計に盛り込んだのが、このチェンノシリーズ。最大の特徴は同社が1950年代に開発したオリジナルのアラビア数字にあります。“見やすさ”を重視してデザインされたこのアラビア数字は、視認性に優れるうえ、丸味を帯びていてとにかく愛らしい♡汎用性が高く、デイリーに使えるシンプル顔なのに、しっかり個性もアピールできる。そんな理想をクロック由来のフェイスが叶えてくれてるんです。

見やすさ第一の こだわりフェイス

とにかく“見やすさ”重視。半世紀以上もその姿勢を貫く同社の腕時計だけあって、無駄な装飾は一切なし。インデックスを際立たせたシンプル顔は視認性バカイチだ。

アラビア数字はオリジナル /

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

どこか見覚えがある!? 親しみ深いアラビア数字

なんと1950年代にデザインされたという、由緒正し〜いアラビア数字。バツと見た瞬間に時間が確認できる視認性のよさと、レトロな佇まいは、まさにオンリーワン。



長年愛せる上質な素材使い

長い時間をともに過ごすパートナーになれるよう、今作には上質な本革ベルトを採用。クセがなくて合わせる服装を選ばないうえ、身に着けるほど味わい深い表情に変化していく。

RHYTHM cenno

リズム時計チェンノの腕時計
各18,000yen

“cenno”とはイタリア語で“合図”を意味する言葉。こちらは定番モデル“チェンノスタンダード”で、名前の通りシンプルを突き詰めたデザインがデイリーユースに最適。クォーツ。径36mm。日本製。



スマートウォッチの心臓部であるモジュールもオリジナルで設計（特許出願中!）。部品のレイアウトの妙で、12.3mmの厚さに留めながら、なんと約2年もの電池寿命を実現している。クォーツ。径38mm。3万8000円。

時計 9ZR004RH13 17万8000円
カーキのカットソー1万2800円
(カーキ)ケレンのシャツワンピ
ス1万6800円(ケレン)

温かみのある
アラビア数字と
レザーベルト

《 RHYTHM cenno 》

シンプル好きの手元にハマる デイリーウォッチの新定番

毎日使っても飽きがこないアイテムは、えてしてシンプルなもの。見やすくいろんな服装にマッチして、流行に左右されず長く愛せる……。リズム時計工業のチェンノシリーズには、そんな3拍子が揃っています。

写真/上田祐輝 文/黒澤正人 スタイルング/小島浩

シンプルモダンな
デザインだから、
ボーイな
スタイルに合う

時計 9ZR004RH19 1万8000円
マノンのシャツ1万2800円(EM
ケースウェア) デニム スタイル
スト私物